

褥瘡管理体制を組織化するための調整力自己評価尺度(改訂版)

病院で褥瘡管理体制を組織化するために、様々な職種に対して発揮するスキルについてお聞きします。

あなたは皮膚・排泄ケア認定看護師として以下の活動をどのくらいの頻度で行っていますか。

各項目について、該当する数字に○をつけてください。

1. 病棟管理者(介入する病棟の看護師長、主任など)に対して発揮するスキルに関する質問

	実施する必要がない	全く行っていない	まれに行っている	時々行っている	まれに行っている	全く行っていない
1 病棟管理者とコミュニケーションを密にとり、病棟管理者を褥瘡管理に巻き込む	5	1	2	3	4	5
2 病棟管理者からの相談にすぐに対応する	5	1	2	3	4	5
3 病棟管理者に、褥瘡患者に提供した褥瘡ケアについて報告する	5	1	2	3	4	5
4 病棟管理者に、スタッフナースが行う褥瘡ケアの質が向上したことを報告する	5	1	2	3	4	5
5 病棟管理者に、改善した褥瘡を見せる(写真も含む)	5	1	2	3	4	5
6 病棟管理者に、客観的データ(体圧値、DESIGN-Rの得点、発生率など)を示す	5	1	2	3	4	5

合計(/30)点

2. スタッフナースに対して発揮するスキルに関する質問

	実施する必要がない	全く行っていない	まれに行っている	時々行っている	まれに行っている	全く行っていない
1 キーパーソンとなるスタッフナースを見つける	5	1	2	3	4	5
2 キーパーソンとなるスタッフナースに褥瘡ケア方法を指導する	5	1	2	3	4	5
3 スタッフナースに対して、体圧分散寝具と創傷被覆材に関する具体的な情報を提供する	5	1	2	3	4	5
4 スタッフナースが主体となって褥瘡ケアが行えるように、支援的立場をとる	5	1	2	3	4	5
5 その病棟のスタッフナースに必要な知識やスキルを指導する計画を立案している	5	1	2	3	4	5
6 褥瘡のアセスメント方法を教育する	5	1	2	3	4	5
7 病棟で症例について話し合う	5	1	2	3	4	5
8 スタッフナースに対して、患者の褥瘡の発生要因について説明する	5	1	2	3	4	5
9 褥瘡ケアを統一するためにケア方法を明記する	5	1	2	3	4	5
10 自立して標準的な褥瘡ケアが行えるように、マニュアルやアルゴリズムなどをスタッフナースに意識的に示す	5	1	2	3	4	5
11 提案した褥瘡ケアをスタッフナースが継続しているかどうか確認するため、病棟を訪問する	5	1	2	3	4	5
12 スタッフナースに褥瘡ケアの効果を実感させるため、客観的データ(体圧値、DESIGN-Rの得点)を示す	5	1	2	3	4	5
13 スタッフナースのモチベーションを維持・向上させるために、褥瘡が治癒・改善したことをほめる	5	1	2	3	4	5
14 スタッフナースに、褥瘡ケアの手本を見せる	5	1	2	3	4	5
15 スタッフナースに対して、病棟で実施可能な褥瘡ケアプランを提案する	5	1	2	3	4	5

合計(/75)点

3. 医師に対して発揮するスキルに関する質問

	実施する必要がない	全く行っていない	まれに行っている	時々行っている	まれに行っている	全く行っていない
1 医師とは異なる皮膚・排泄ケア認定看護師がもつ褥瘡管理技術(例:スキンケア、除圧等)によって、褥瘡を改善させる	5	1	2	3	4	5
2 医師に対して、患者の褥瘡の発生要因について協議する	5	1	2	3	4	5
3 医師に対して、患者の褥瘡ケア方法を提案する	5	1	2	3	4	5
4 医師に対して、皮膚・排泄ケア認定看護師が提供する褥瘡ケアの有効性をエビデンスに基づいて説明する	5	1	2	3	4	5
5 医師の褥瘡処置に関する指示が不適切であると判断した場合には、エビデンスに基づいてその旨を伝える	5	1	2	3	4	5
6 褥瘡に関連する診療上の決定の際に、医師の立場を配慮しつつ意見を述べる	5	1	2	3	4	5

合計(/30)点

4. 管理者(院長や看護部長など)に対して発揮するスキルに関する質問

	実施する必要がない	全く行っていない	まれに行っている	時々行っている	まれに行っている	全く行っていない
1 褥瘡管理の現状を評価し、管理者に対してよりよい褥瘡管理対策を提案する	5	1	2	3	4	5
2 管理者に対してデータに基づいて、褥瘡管理に必要な物品の予算を要求する	5	1	2	3	4	5
3 褥瘡管理を行う上で妨げとなる労働条件・職務環境がある場合には、管理者に改善を求める	5	1	2	3	4	5
4 目標に沿った褥瘡管理を実施する(例:年間褥瘡発生率を〇%に下げる等)	5	1	2	3	4	5
5 学会や研究会で所属病院における褥瘡管理の活動実績を報告する	5	1	2	3	4	5

合計(/25)点

5. 褥瘡管理に関わるチームスタッフに対して発揮するスキルに関する質問

※チームスタッフとは、医師、看護師、栄養士、薬剤師、PT、OTなどのこと

	実施する必要がない	全く行っていない	まれに行っている	時々行っている	まれに行っている	全く行っていない
1 チームスタッフに、褥瘡の発生要因を説明する	5	1	2	3	4	5
2 チームスタッフと情報を共有するため、客観的データ(体圧値、DESIGN-Rの得点など)を示す	5	1	2	3	4	5
3 チームスタッフと褥瘡管理に関する情報を共有するため、患者の記録に褥瘡ケアに関する記録を残す	5	1	2	3	4	5
4 チームスタッフと褥瘡ケアの方針を統一するため、各職種がアセスメントした情報を統合する	5	1	2	3	4	5
5 チームで集合して検討する機会を意識的に設けている	5	1	2	3	4	5
6 チームスタッフの褥瘡ケアに関する意見を尊重する	5	1	2	3	4	5
7 皮膚・排泄ケア認定看護師のもつ専門性以外の知識やスキルが必要と判断した際には、その専門職(医師、栄養士、薬剤師、PT、OTなど)に相談する	5	1	2	3	4	5
8 主治医とチームスタッフの間でうまくコミュニケーションがとれていない場合には、その理由を把握し、解決する	5	1	2	3	4	5
9 チームスタッフに褥瘡が治癒/改善したことを示すため、客観的データ(DESIGN-Rの得点など)を示す	5	1	2	3	4	5

合計(/45)点

※合計得点は各医療者ごとに算出する。

Copyright: 横野(西澤)知江, 2015

出典: 横野知江, 真田弘美, 須釜淳子, 他9名, 皮膚・排泄ケア認定看護師経験年数別にみた褥瘡管理に関する調整力自己評価尺度の活用可能性の検討

日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌, 20(1), 32-42, 2016